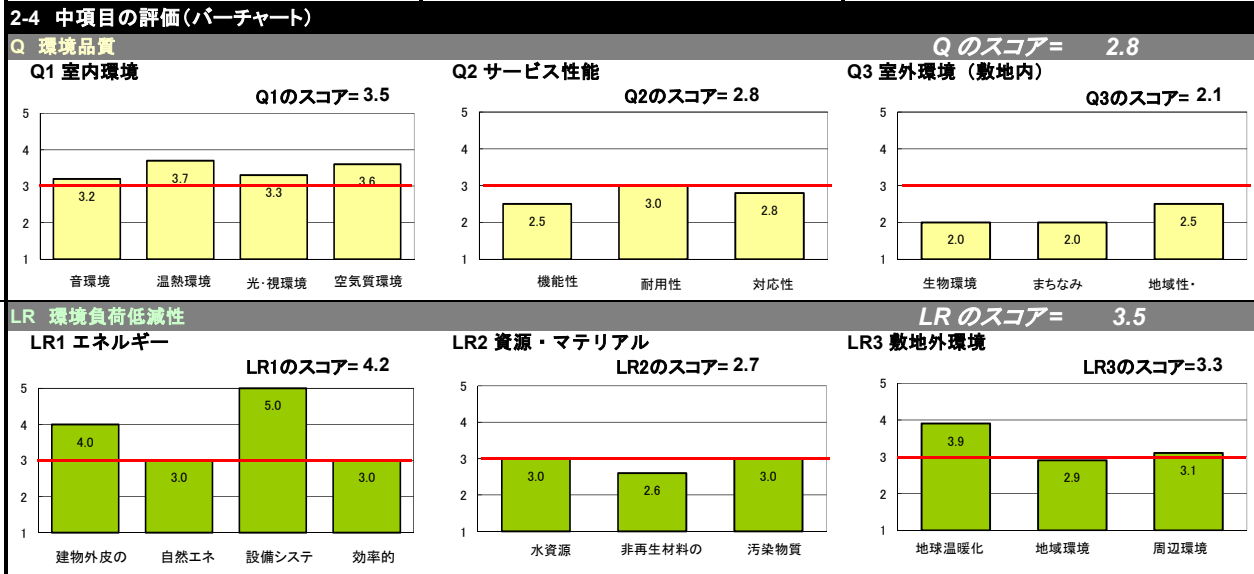
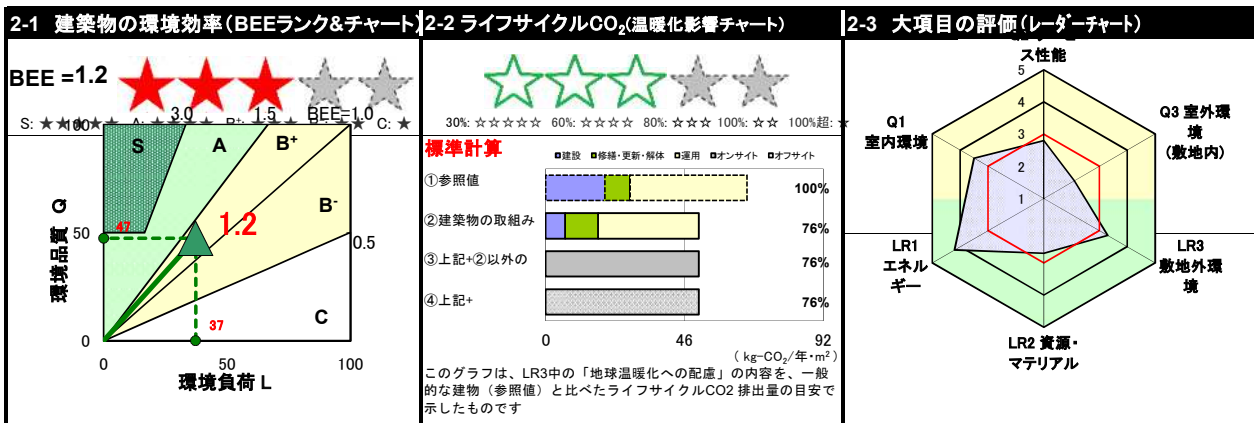


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市藤沢1丁目計画新築工事	階数	地上6F
建設地	藤沢市藤沢1丁目756-5-757-1,2・1913-4,20	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2023年2月7日
敷地面積	1,153㎡	作成者	㈱アート総合企画一級建築士事務所
建築面積	561㎡	確認日	2023年2月7日
延床面積	2,463㎡	確認者	㈱アート総合企画一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	計画地は旧東海道宿場町に面し古い町並みをイメージして形成している地域にある。周辺の街並みに溶け込むよう外観、仕上材等厳選し計画をした。	
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
専有部分について、T-2仕様のサッシを採用し、断熱性能等級4を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮を行っている。	特になし
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
断熱性能等級4、BEI=0.81としている。	LGS下地を採用している。	LCCO <sub>2</sub> 排出率76%とし、光害抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される